

給餌解説時におけるゴマフアザラシへの暑熱対策

○宮園智子, 野間重和, 空閑愛鈴, 藤野貴子
(マリンワールド海の中道)

マリンワールド海の中道では, 2024年3月19日に屋外施設のかいじゅうアイランド内にゴマフアザラシ *Phoca largha* の生態などを給餌しながら解説するパフォーマンスエリア (以下エリア) を新設した. 夏場 (6-9月) は昨今の猛暑により, 獣舎からの移動時と給餌解説 (以下解説) 中は地表温度が高温になるため, 動物の健康状態を考慮した暑熱対策を実施した. 解説は平日1回, 土日祝及び繁忙期は2回行い, 1回の解説で雌1頭もしくは雄1-2頭を出場させている. 暑熱対策として散水等を行ってきたが, 解説参加の拒否, 摂餌意欲の低下, 体表の発疹の出現など動物の健康に影響がみられたため改善を試みた. 非接触式電子温度計 (TETM-01, 株式会社東亜産業) を使用し, 解説前の地表温度の測定を行った. 晴天で気温 33.0°C, 湿度 67% の条件下で地表温度は 54.1°C を示した. 暑熱対策として解説前, エリア (10×17.5m) にターポリンシート (KT60EWMD: 3.7×10m, 厚さ 0.85mm, ブルー, カンボウプラス株式会社) を敷き, 水道水での常時散水と氷水の散布を実施した. 暑熱対策後のターポリンシート上の地表温度は 29.4°C に低下し, 実施当日は解説実施 10 分後でも 32.6°C までしか上昇せず, 動物の体温以下に維持することができた. 暑熱対策実施前は解説後, 来館者から動物への暑さの影響や体表の擦れなど健康に関する問い合わせがあったが, 対策後は問い合わせがなくなった. また, 動物の解説への参加も活性化され, 摂餌意欲及び体表の発疹の改善がみられた. なお, 年々気温が上昇していることから, 今後もさらなる暑熱対策を実施していく必要がある.

※修正内容を確認いたしました. こちらで受理とさせていただきます (話題提供).